

## 2025.03.18 シニアクラブ Online 会合報告

三寒四温、寒い日もあれば暖かい日もあり、着実に春に向かって気候は変化しているようです。先月のこの会合で大雪の情報があった雪国新潟からは雪の壁が徐々に下がっているとの報告でした。



今回の会合では参加者から、かつて会社経営が苦戦しているころの労組の取り組みについて知りたいとのリクエストがあり、当時労組委員長として対応にあたった、現シニアクラブ会長の宮本さんから話を聞くことになりました。上の写真、旧勤労会館には労組本部があって、シニアクラブとしても総会や会議、勉強会などで何度もここを利用してきた思い出の場所です。2018年1月に労組本部がここを去る際にささやかなお別れの会を催しましたがその時のレポートが次に残されているのでご覧ください。 <http://jvc-senior.com/302news.pdf>

宮本さんの話の詳細はここには記載を割愛しますが、事業縮小や工場移転、人員削減など会社提案に対して事態の取りまとめに東奔西走した事が詳しく述べられました。そしてケンウッドとの「会社合併」に至り宮本さんは委員長を次にバトンタッチしていますが、その後の「労組統合」さらに上部団体を「JAMに一本化」へと労組執行部は課題に直面してきました。いずれの時も組合員のコンセンサスを如何にまとめるかが大きな課題だった筈です。これからも機会を得て“労組の取り組み（続編）”を聞く場を設定していきたいと思います。



・宮本さんの話の後、参加会員からの質問や感想など述べられました。任意退職の形でリストラは進められてきていたが、2000年代に入ってから半ば強制的に人員削減に取り組みなければならず、会社側の立場で直接その任を担当した人からの苦労話などもありました。

リストラを受け、会社に良い思い出を最後に残すことができなかつた人もいたかと思いますが、長い間の会社勤務で楽しい思い出もある筈で、退社後にシニアクラブや寿会などの会社OB会組織へ参加することの大切さなどが述べられました。

・話は変わって、3月は卒業シーズンということですが、最近の学校では「揚げば尊し」があまり歌われなくなったとのことで、その歌詞をみてこの会合の参加者に思うところを聞いてみました。

「生徒が歌わされている感じの歌詞

だ。」「いや、1番は生徒が歌い、2番は先生が歌い、3番は一緒に歌うものだ。」など意見が出ました。本件は、いつもこの会合でギターをもって歌を紹介する浅見さんから提示された話ですが、今回、都合で浅見さんはここには参加できなかったので別途3月28日に歌ってもらいました。左、参加者の写真で歌っている浅見さんはこの時の写真の“あてはめ”です。歌は <https://youtu.be/TVACqd9EBiI> 参照



ちなみに、ネット上で卒業式で歌う歌ランキングを見ると、右のようになっています。「揚げば尊し」も歌われているようですが、その他の歌は今回のOnline会合参加者の中でもほとんど知らない歌とのことで、世代間格差を感じますね。

- ・いきものがかり | YELL
- ・レミオロメン | 3月9日
- ・練馬児童合唱団 | 旅立ちの日に
- ・アンジェラ・アキ | 手紙～拝啓 十五の君へ～
- ・大木惇夫作詞/佐藤 眞作曲 | 大地讃頌
- ・嵐 | サクラ咲ケ
- ・Official 髭男 dism | ラストソング
- ・YOASOBI | ハルカ
- ・DISH// | 沈丁花
- ・SEKAI NO OWARI | サザンカ
- ・合唱曲『揚げば尊し』

・今回は以上となります。

次回は4月22日（火）開催予定です。多くの皆様お集まりください。

2025.03.28 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周